



JORNAL NIKKEY SHIMBUN
DIRETOR PRESIDENTE RAUL M. TAKAKI
JORNALISTA RESPONSÁVEL TAKAO MIYAGUI
Rua da Glória, 332 - Liberdade
CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil
Tel (11) 3340-6060 | www.nikkeishimbun.jp

「外へも、流言やめろ」

死者最悪記録を連日更新中

「大量殺人犯」など批判殺到

ボルソナロ大統領は4日、コロナ禍による死者などがこの連日更新中... 「大量殺人犯」など批判殺到



4日のボルソナロ大統領 (Twitter)

大統領のこの問題発言に対し、ロドリゴ・マ... 大量殺人犯など批判殺到

大統領の公社介入で不安定化

金融市場に連日マイナス効果

【既報関連】ボルソナロ大統領が2月19日に... 金融市場に連日マイナス効果



2月18日夜のライブ (reproducao/Facebook)

税を果したために銀行... 大統領の介入は続

ブラジル銀行頭取も交代か

「単なる風邪」や、中国の死者を超えた時の「それがどうした?」

免を改めて主張した。また、諸外国でもイギリスのBBC局が「国がコロナで過去最大の苦難の最中にまたもコロナ

東西南北 世界的にも有名な伯国の音楽フェスティバルで、今年9月に開催予定だ

9カ月連続で成長を記録も 地理統計院(IBGE)が5日に発表したと

クリ州議4カ月の停職に? 女性議員に審議中に猥褻行為

州では、サッカー選手の間でも感染者が続出しているが、そんな中でも

増、昨年同月比では2%増となった同日付伯字

州 全域で赤レベルがスタート 医療崩壊目前で2週間

州議 女性議員に審議中に猥褻行為

州では、サッカー選手の間でも感染者が続出しているが、そんな中でも

増、昨年同月比では2%増となった同日付伯字

緊急時の連絡先
サンパウロ日伯援護協会「本部事務局」
サンタクルス病院
万が一、医療機関等に隔離され、日本政府の援護が必要な場合の在外公館の連絡先リスト



こくさいは にほんじん  
**国際派日本人養成講座**  
 伊勢雅臣

# なぜ世界最古の土器が日本列島から出土するのか？

## 1. 日本列島から出土した世界最古の土器の一つ

東京・上野の国立博物館での縄文展を見た。大変な人気である。特に中国やメソポタミアなどの土器との比較もできるように、縄文時代の火炎土器は年代もはるかに古いのに、立体的な造形美は比較にならないほど美しかった。また、細かい縄紋、すなわち縄目の模様の精巧さにも驚かされた。

現在、世界最古と考えられている土器の一つが、青森県大平山元遺跡から出土したもので約1万6500年前。これは模様のない無文土器だが、約1万4500年前ごろには、粘土ひもをはりつけた「陶文土器」が生まれ、全国に広がっている。

世界の他の地域では、南アジア、西アジア、アフリカでの最古は約9千年前、ヨーロッパが約8500年前で、これらに比べると、飛び抜けて古い。岡村道雄・元文化庁主任文化財調査官は、日本列島の土器は「質量ともに世界の他の時代や地域のものとはべて際立っている」と述べている。「1、P53」

従来の歴史では、メソポタミア、エジプト、インド、中国が世界の「4大文明」であり、日本は文明を中国から教わった後進地域だった、と教わった。近年の考古学は、その歴史観を覆しつつある。しかし、なぜユーラシア大陸の東端にある日本列島で、世界最古の土器が出てくるのだろうか？

## 2. 縄文人たちの「持続可能な開発」

従来の文明観では、石器時代の人類は狩猟・採集による移動生活を送っていたが、約1万2千年前から、世界の各地で農耕と牧畜を始めてようやく定住生活ができるようになった。そこから文明が始まったというのだった。

この文明観から完全にはみ出しているのが、1万5千年前くらいから始まった日本の縄文時代だ。そこで我々の先人たちは狩猟や採集のまま定住生活を始めたのである。

日本列島を巡る海では寒流と暖流がぶつかり合って、世界有数の漁場をなし、豊かな森林からは木の実やキノコなどが加わる。「2、963」

## 3. 数百種類の食材を、旬を考えながら採っていた

縄文人たちは自然の恵みをただ受けとっていたのではなく、それぞれの品目に「旬」を知って採っていた。現代の潮干狩りと同様で、この時期が最も脂がのっているからである。同じくイシシ、ニシンも春に盛りを迎える。夏はアジ、サバ、クロダイ、秋はサケ、ブリ等々。同時にクリ、クルミ、シイ、トチなどの木の実にシズメとなる。

冬になると、脂肪を蓄えたキジ、ヤマドリ、カモ、イノシシ、シカ狩り。年を越すとワラビ、クズ、ゼンマイなどの若菜。若芽が採れる。縄文遺跡の食料の残滓から60種類以上、魚70種類以上、貝350種類以上が遺されている。これに木の実や野菜、果物、キノコなどが加わる。「2、963」

今日の日本料理が多種多様な食材を、それも「旬」を考へて出すのは世界の料理の中でもユニークな特色だが、それは縄文時代から続いている伝統だろう。

## 4. 定住と知識・技術の進化

縄文人の食の多様性をさらに大きく広げたのが土器だった。土器による煮炊きによって、木の皮のアクを抜き、植物の根や茎を柔らかくして食べやすくなり、魚や獣の肉の腐敗を防げるようになった。土器は保存容器としても、通気性や通水性によって表面の水分が気化して低温を保つので、食物の長期保存が可能となった。

縄文人たちは定住することで、大きな重い土器を作り、使う事ができるようになった。一定の場所から料理を見れば、それを形にし、火で焼くという作業は定住していなければできなかった。

また、定住生活では身体が弱ったお年寄りも脱落することなく、その経験や知識を次の世代に伝える事ができる。それによって様々な食材を食べられるかどうか判別し、いつどこで採ったら良いかを考える、という知識と経験の積み重ねが容易になった。土器の発達も、定住生活ができるようになったから加速しただろう。

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読まない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。  
 (ニッケイ新聞編集部)

## 5. 縄文人の円の思想

こうして自然に抱かれて暮らしていた縄文人の世帯は、また独特のものがあった。それを明治学院大学・武光誠教授は「円の思想」と表現している。「自然界ではすべてのものが互いに深くつながって存在している」という世界観である。

夏が終われば秋の山野の恵みが、冬が終われば春の1万年以上も自然と共生し、平和が続いた縄文時代は「文明先進国がどこも体験することのできなかつた貴重な時間」だった

## 6. すべての人が平等だった環状集落

人間が自然の円の中で生かされているとすれば、人間同士もその円の中で、生まれ、育ち、年老い、そして子孫を残して死んでいくものであった。そこには階級分化もありません。すべての人間は平等だった。縄文人は集落の中心に円形の広場を作り、そこで自然を司る精霊を祀った。そして、その周りに竪穴住居を円の形に配置した。どの家も神聖な広場からは等距離である。このような「環状集落」は5千年前頃から、東北地方から中部地方まで広い範囲で作られた。

後に神社ができると、その祭りで、歌や踊りに興じたり、神輿とともに練り歩いたりするようになったが、縄文時代から同様の祭りがあつただろう。特に盆踊りは「円」を作って、一緒に回る。こうして、みんな一緒に楽しむと、精霊たちを喜ばせた。

## 7. 「旅」と「まれ人」

縄文時代には各地の集落間で広域の交易が行われていた。新潟県糸魚川市の山中で上質なヒスイが採れるところがあるが、このヒスイを用いた勾玉の祭器が日本全国から出土している。

また、秋田、山形、新潟の油田地帯では、石油が地上に染み出してできたアスファルトが採れる。このアスファルトは、石の矢尻を先端にくっつけた、壊れた土器を修理する接着剤として使われるが、これらアスファルトを使った出土品が北海道南端から東北地方全域、北陸地方に及ぶ広い範囲で見つかった。

こうした交易がどのようになされたのか。たとえば青森の三内丸山の集落で祭祀にヒスイが必要となると、集落の中から選ばれた勇者たちがヒスイの採れる新潟の糸魚川近辺まで出かけていく。そういう旅人が来くと、糸魚川の住民は快く場所を教える。すべての自然物は精霊の恵みなので、彼らが独占すべきものではないから。

武光誠教授は、これが「旅」の始まりだと指摘する。「旅」とは「賜へ」、すなわち「何かを下さ」という言葉から出た。自分が欲しい物がある所に行くと、その集落に「何を賜へくださ」とお願いする行為が旅だった。

旅人たちは、糸魚川の住民に自分たちの集落の話をする。そこから、自分の集落から何か、お返しに持ってくる物を知る。そして、次回、ヒスイを求めてまた旅人がやってくる時には、それを贈り物として持ち参るのである。

こうして旅人は、貴重な情報や贈り物をもつてきてくれる「まれにしか来ることのない大切な客人」と歓迎された。これが「まれ人」の語源である。

縄文時代には、このように全国の村落が交易、交流、友好のネットワークで結ばれていた。これも「円の思想」の表れであろう。

## 8. 日本人のユニークな経験

縄文時代の代表的な遺跡、三内丸山遺跡に関して、自由社版の中学歴史教科書は次のように述べている。

1万年以上も自然と共生し、平和が続いた縄文時代は「文明先進国がどこも体験することのできなかつた貴重な時間」だった

## 9. 有機農業

50年目にゼロにすることを明記。除草を自動化できる田畑の整備や、病害虫に強い品種の育成など、化学肥料や農薬を使わずに有機農業の面積を18年度の2万3700ヘクタールから大幅に広げるとしている。

また17年6月までの1年間に90トン使われた化学肥料を、50年までに30%削減する。土壌の性質を人工知能(AI)で分析し、有効な肥料の使用量を算出する技術の実用化などを進める。化学農薬については、ミツバネオコノチガイに代わる新しい農薬を開発するなどし、使用量を減らす。

食物が現れる。縄文人は、人間とは、このような終りのない自然の恵みによって生かされている存在なのだ考えた。「3、P26」

動物も魚も貝も木も草も、生きとし生けるものはすべて精霊が宿っている。人間もその一部である。その精霊の命を少しだけ戴いて自分たちは生かされている。その無限の命の循環の中に自分たちは暮らしている。とすれば、魚を取り尽くしたり、獣を小さくうちに食べってしまうなどということは、縄文人にとっては許されない行為であった。

森を切り払って畑にしたり、牛のための牧草地にしてしまう農耕・牧畜の民よりも、はるかにエコロジカルな世界観である。1万年以上も、自然と共生してきた生活の基盤には、こういう生命観があった。

自然に抱かれた縄文人たちは「自然との共感共鳴」をしていて、それが日本語の中にも残っていると小林達雄・國學院大学名誉教授は指摘する。日本語は擬音語、擬声語が豊かなのが特徴だ。川が「さしさら」流れる。風が「そよそよ」吹く、などである。小林教授はこう語る。

## 10. 有形文化財45点が未修復

【共同】東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島3県の市町村が指定する有形文化財251点のうち、45点が修復されていないことが5日分かった。修復費用の不足のほか、津波による被害を受け、技術的にも作業が困難になっている。東京電力福島第1原発事故のため回収できなかったケイ素も、専門家は「心の復興に寄与する」と文化財復旧が地域と与える重要性を指摘する。

震災や津波被害に遭った沿岸部と、原発事故の避難区域となった42市町村を対象に取材した。被災した対象は仏像や神祇、石碑など。未修復の45点の内訳は岩手11点、宮城16点、福島18点。45点のうち16点は焼失や津波で流失した。残る29点中、修復のめどが立っているのは8点だけで21点は復旧に着手できていない。そのうち8点は、原発事故の帰還困難区域に取り残されたままの文化財で複数の岩手県山田町など複数の自治体は、復旧を支援する財政制度の設置を国に求めた。

宮城県大川町では、江戸時代の「金羅大権現」が津波で割れた。「修復は難しい」として、完全な形で修復できないまま、被災時の状態を保管。岩手県陸前高田市では「震災と呼ばれる室町時代の木製の箱が津波で傷ついた。大部分が破損して復元に3、4年かかり、今月修復を終える。」

第1原発が立地する福島県双葉町と大熊町では、それぞれ室町時代の「鴻草庵」や、江戸時代の「熊野」など、江戸時代の帰還困難区域内に置き去りのまま残る。指定物以外も貴重な建物が被災した。津波が襲った福島県南相馬市では、近代建築や商家が取り壊された。

福島大の阿部浩一教授(日本中世史学)は「文化財は古里共通の思い出」と指摘。「被災対応の」前線にいる市町村に代わり、手が届きにくい活動を支援する態勢づくりが必要だ」と話した。

## 11. 有文文化財45点が未修復

【共同】東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島3県の市町村が指定する有文文化財251点のうち、45点が修復されていないことが5日分かった。修復費用の不足のほか、津波による被害を受け、技術的にも作業が困難になっている。東京電力福島第1原発事故のため回収できなかったケイ素も、専門家は「心の復興に寄与する」と文化財復旧が地域と与える重要性を指摘する。

震災や津波被害に遭った沿岸部と、原発事故の避難区域となった42市町村を対象に取材した。被災した対象は仏像や神祇、石碑など。未修復の45点の内訳は岩手11点、宮城16点、福島18点。45点のうち16点は焼失や津波で流失した。残る29点中、修復のめどが立っているのは8点だけで21点は復旧に着手できていない。そのうち8点は、原発事故の帰還困難区域に取り残されたままの文化財で複数の岩手県山田町など複数の自治体は、復旧を支援する財政制度の設置を国に求めた。

宮城県大川町では、江戸時代の「金羅大権現」が津波で割れた。「修復は難しい」として、完全な形で修復できないまま、被災時の状態を保管。岩手県陸前高田市では「震災と呼ばれる室町時代の木製の箱が津波で傷ついた。大部分が破損して復元に3、4年かかり、今月修復を終える。」

第1原発が立地する福島県双葉町と大熊町では、それぞれ室町時代の「鴻草庵」や、江戸時代の「熊野」など、江戸時代の帰還困難区域内に置き去りのまま残る。指定物以外も貴重な建物が被災した。津波が襲った福島県南相馬市では、近代建築や商家が取り壊された。

福島大の阿部浩一教授(日本中世史学)は「文化財は古里共通の思い出」と指摘。「被災対応の」前線にいる市町村に代わり、手が届きにくい活動を支援する態勢づくりが必要だ」と話した。

## 12. 有機農業

50年目にゼロにすることを明記。除草を自動化できる田畑の整備や、病害虫に強い品種の育成など、化学肥料や農薬を使わずに有機農業の面積を18年度の2万3700ヘクタールから大幅に広げるとしている。

また17年6月までの1年間に90トン使われた化学肥料を、50年までに30%削減する。土壌の性質を人工知能(AI)で分析し、有効な肥料の使用量を算出する技術の実用化などを進める。化学農薬については、ミツバネオコノチガイに代わる新しい農薬を開発するなどし、使用量を減らす。

## 13. 有文文化財45点が未修復

【共同】東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島3県の市町村が指定する有文文化財251点のうち、45点が修復されていないことが5日分かった。修復費用の不足のほか、津波による被害を受け、技術的にも作業が困難になっている。東京電力福島第1原発事故のため回収できなかったケイ素も、専門家は「心の復興に寄与する」と文化財復旧が地域と与える重要性を指摘する。

震災や津波被害に遭った沿岸部と、原発事故の避難区域となった42市町村を対象に取材した。被災した対象は仏像や神祇、石碑など。未修復の45点の内訳は岩手11点、宮城16点、福島18点。45点のうち16点は焼失や津波で流失した。残る29点中、修復のめどが立っているのは8点だけで21点は復旧に着手できていない。そのうち8点は、原発事故の帰還困難区域に取り残されたままの文化財で複数の岩手県山田町など複数の自治体は、復旧を支援する財政制度の設置を国に求めた。

宮城県大川町では、江戸時代の「金羅大権現」が津波で割れた。「修復は難しい」として、完全な形で修復できないまま、被災時の状態を保管。岩手県陸前高田市では「震災と呼ばれる室町時代の木製の箱が津波で傷ついた。大部分が破損して復元に3、4年かかり、今月修復を終える。」

第1原発が立地する福島県双葉町と大熊町では、それぞれ室町時代の「鴻草庵」や、江戸時代の「熊野」など、江戸時代の帰還困難区域内に置き去りのまま残る。指定物以外も貴重な建物が被災した。津波が襲った福島県南相馬市では、近代建築や商家が取り壊された。

福島大の阿部浩一教授(日本中世史学)は「文化財は古里共通の思い出」と指摘。「被災対応の」前線にいる市町村に代わり、手が届きにくい活動を支援する態勢づくりが必要だ」と話した。

## 14. 有機農業

50年目にゼロにすることを明記。除草を自動化できる田畑の整備や、病害虫に強い品種の育成など、化学肥料や農薬を使わずに有機農業の面積を18年度の2万3700ヘクタールから大幅に広げるとしている。

また17年6月までの1年間に90トン使われた化学肥料を、50年までに30%削減する。土壌の性質を人工知能(AI)で分析し、有効な肥料の使用量を算出する技術の実用化などを進める。化学農薬については、ミツバネオコノチガイに代わる新しい農薬を開発するなどし、使用量を減らす。

私たちの祖先である縄文の人々は、「和の文明」とも呼べるようなおだやかな社会を築いていたのです。「5、P33」

土地もヒスイも魚も、すべて自然の恵みと考えれば、そこには私有財産という概念は生じ得なかったろう。そして、その自然の恵みを人々が感謝しつつ、使いすぎないように注意深く使っている社会では、争いは生まれません。

一方、農耕社会では、自分が汗水垂らして耕して作った畑は自分のものだ、という意識が生ずる。その土地を増やそうとすると、土地を巡って隣人と争いが生ずる。

北米のインディアンは縄文人と同様の精神を持っている。たまただ、インディアンからの移住者が追いついた時、彼らは「まれ人」として温かく迎えた。しかし、その移住者たちは土地を自分たちの財産と主張して、インディアンを駆逐し始める。インディアンたちは、自然の精霊が与えてくれた大地を、なぜ特定の人間が自分の所有物だと主張するのか、理解できなかった。

農業・牧畜を始めた人間は、自然環境を破壊し、土地を巡って争うようになった。そこから継承された環境破壊と戦争が、現代社会にも大きな危機をもたらしている。その一方で「円の思想」を継承した日本文化は和を大切に、環境との共存共栄を実現している。小林教授は次のように結論づけている。

日本列島で農耕が始まるまでの1万年以上も続いた自然との共生の体験の中で縄文世界観が醸成され、日本人の心的基盤が形成されていったと言えます。それは、文明先進国がどこも体験することのできなかつた貴重な時間だったとも言えます。「4、1317」

そのような世界でもユニークな1万年以上も続いた経験した我々は、そこで学んだ事を世界に示していく責務がある。

■リンク

A、「いのちの結び」現代科学と日本文明、伊勢雅臣「世界が称賛する 日本人の知らない日本」、育聯社、H28

【参考文献】

1、「日本の歴史01 縄文の生活誌」、講談社学術文庫、H20

2、上田篤「縄文人に学ぶ」、新潮新書、H25

3、武光誠「日本人なら知っておきたい日本」、育聯社、H30

4、小林達雄「縄文文化が日本人の未来を拓く(電子特別版)」、徳間書店、H30

5、「中学社会新しい歴史教科書 新版(平成28年度採用)」、自由社、H27

**国際派日本人養成講座**  
 発行人=伊勢雅臣(文責)  
 Mail: ise.masaomi@gmail.com  
 Twitter: https://twitter.com/ise\_masaomi  
 無料購読申込・取消: http://blog.jog-net.jp/

**有機農業**  
 100万ヘクタールに50年目標 農産省食料戦略

【共同】農林水産省は5日、「みどりの食料システム戦略」の中間取りまとめ案を発表した。2050年までに有機農業の面積を全耕地の25%に当たる100万ヘクタールを増やすこと、化石燃料などを原料とする化学肥料の使用量を30%減らすといった具体的な数値目標を盛り込んだ。技術革新により生産性向上と持続可能性のある農業の両立を目指す。取りまとめ案では、農林水産業の二酸化炭素(CO2)排出量を減らす。

50年目にゼロにすることを明記。除草を自動化できる田畑の整備や、病害虫に強い品種の育成など、化学肥料や農薬を使わずに有機農業の面積を18年度の2万3700ヘクタールから大幅に広げるとしている。

また17年6月までの1年間に90トン使われた化学肥料を、50年までに30%削減する。土壌の性質を人工知能(AI)で分析し、有効な肥料の使用量を算出する技術の実用化などを進める。化学農薬については、ミツバネオコノチガイに代わる新しい農薬を開発するなどし、使用量を減らす。



# 米、アジアにミサイル網

## 中国に対抗 軍が予算要求

### 沖繩含む 「第1列島線」

【ワシントン共同】米インド太平洋軍は4日までに、沖繩からフィリピンを結ぶ「第1列島線」に射程500キロ以上の地上配備型ミサイル網を構築するための経費を含め、2022会計年度(21年10月1日～22年9月)から6年間で270億ドル(約2兆9千億円)の予算を議会に要求した。南シナ海や台湾海峡で軍事的圧力を増す中国への抑止力を強化する狙い。軍事専門誌「ペンタゴン」が報じた。

ミサイル網構築の経費「第1列島線に沿って(敵艦)の攻撃から(敵艦)の残存可能性が高い精密攻撃ネットワーク」を整備する必要があるとした。中距離ミサイルを巡っては、米がロシアや中国の急速な軍備近代化により「インド太平洋の軍事バランスは米や同盟国に不利な方向に動いている」と指摘、同盟国に抑止力を強化する必要があると訴えた。

「第1列島線に沿って(敵艦)の攻撃から(敵艦)の残存可能性が高い精密攻撃ネットワーク」を整備する必要があるとした。中距離ミサイルを巡っては、米がロシアや中国の急速な軍備近代化により「インド太平洋の軍事バランスは米や同盟国に不利な方向に動いている」と指摘、同盟国に抑止力を強化する必要があると訴えた。

「第1列島線に沿って(敵艦)の攻撃から(敵艦)の残存可能性が高い精密攻撃ネットワーク」を整備する必要があるとした。中距離ミサイルを巡っては、米がロシアや中国の急速な軍備近代化により「インド太平洋の軍事バランスは米や同盟国に不利な方向に動いている」と指摘、同盟国に抑止力を強化する必要があると訴えた。

「第1列島線に沿って(敵艦)の攻撃から(敵艦)の残存可能性が高い精密攻撃ネットワーク」を整備する必要があるとした。中距離ミサイルを巡っては、米がロシアや中国の急速な軍備近代化により「インド太平洋の軍事バランスは米や同盟国に不利な方向に動いている」と指摘、同盟国に抑止力を強化する必要があると訴えた。

# 中国

## 成長率目標6%以上

### 香港民主派一掃に着手

【北京共同】中国の全人民代表大会(全人代)が5日、北京で開幕した。李克強首相は政府活動報告で、2021年の国内総生産(GDP)成長率の目標を「6.0%以上」と設定した。習近平指導部は香港の選挙制度に「明らかに欠陥がある」として見直しを提案。政治的舞臺から民主派を一掃する手続に着手した。21年予算案に前年比6.8%増の国防費を計上し、8%増の国防費を計上し、長期的に国力の増強を目指す。

内需拡大を基本として世界経済ともうまく連携する「双循環」戦略を推進する。科学技術発展も進める。李氏は「発展の質と効率を向上させる」と表明した。

## 救急隊員や記者も弾圧

【ヤンゴン共同】クーデターで軍事政権が掌握したミャンマーで、救急隊員や記者が弾圧されている。救急隊員は、救急活動中に弾圧を受け、記者は取材活動が制限されている。

## EUワクチン輸出差止め

【ブリュッセル、ローマ共同】欧州連合(EU)は、EU域内でのワクチン供給を確保するため、EU域外へのワクチン輸出を差止めようとしている。

## 海外観客、5者協議で決定

【共同】東京五輪・パラリンピック組織委員会が、海外からの観客について5者協議で決定する方針を示した。

## 全豪テニス、83億損失か

【共同】テニスの大坂なおみ(日清食品)が女子シングルスで2度目の頂点に立った。大会の損失は約83億ドルと推定されている。

## ローマ教皇がイラク初訪問

### イスラム教との融和訴え

【バグダッド共同】ローマ教皇フランシスコは5日、イラクを訪問し、イスラム教との融和を訴えた。

## KG B創始者像で投票中止

### 口政権「敗北」回避か

【モスクワ共同】ロシアの口政権が、KG B創始者像の投票を中止した。

## EUワクチン輸出差止め

【ブリュッセル、ローマ共同】欧州連合(EU)は、EU域内でのワクチン供給を確保するため、EU域外へのワクチン輸出を差止めようとしている。

## 海外観客、5者協議で決定

【共同】東京五輪・パラリンピック組織委員会が、海外からの観客について5者協議で決定する方針を示した。

## 全豪テニス、83億損失か

【共同】テニスの大坂なおみ(日清食品)が女子シングルスで2度目の頂点に立った。大会の損失は約83億ドルと推定されている。

## 救急隊員や記者も弾圧

【ヤンゴン共同】クーデターで軍事政権が掌握したミャンマーで、救急隊員や記者が弾圧されている。

## KG B創始者像で投票中止

### 口政権「敗北」回避か

【モスクワ共同】ロシアの口政権が、KG B創始者像の投票を中止した。

## EUワクチン輸出差止め

【ブリュッセル、ローマ共同】欧州連合(EU)は、EU域内でのワクチン供給を確保するため、EU域外へのワクチン輸出を差止めようとしている。

## 海外観客、5者協議で決定

【共同】東京五輪・パラリンピック組織委員会が、海外からの観客について5者協議で決定する方針を示した。

## 全豪テニス、83億損失か

【共同】テニスの大坂なおみ(日清食品)が女子シングルスで2度目の頂点に立った。大会の損失は約83億ドルと推定されている。

## 複合の渡部 暁、銅メダル

【オーストラリア共同】全豪オープンテニスで、渡部暁が銅メダルを獲得した。



首都圏 緊急事態再延長

政府、21日まで2週間 病床逼迫、変異株警戒

【共同】政府は5日、新型コロナウイルス感染症対策本部会合を首相官邸で開き、首都圏1都3県に発令している緊急事態宣言について、7日の期限を21日まで2週間再延長すると決定した。

首相「心よりおわびする」



首都圏1都3県の緊急事態宣言再延長について記者会見する菅首相=5日午後9時3分、首相官邸（共同）

再延長の2週間は「感染拡大を抑え込むと同時に、状況をさらに慎重に見極めるために必要な期間」と説明した。

NTT 接待に5千円負担

野党「虚偽」 谷脇氏「応分と認識」

【共同】総務省の谷脇康彦総務審議官は5日の参院予算委員会、NTTから高額の接待を受けたとされる問題を巡り、昨年7月の接待で5千円を負担したと答弁した。

【共同】政府は5日、新型コロナウイルス感染症対策本部会合を首相官邸で開き、首都圏1都3県に発令している緊急事態宣言について、7日の期限を21日まで2週間再延長すると決定した。

モデルナワクチン承認申請

武田薬品、国内3例目

【共同】武田薬品工業は5日、米バイオテックロジック社が開発した新型コロナウイルスワクチン承認申請書を厚生労働省に申請した。



参院予算委の立憲民主党の小西洋之氏（右手前から2人目）の質問に対する答弁の中で、総務省の接待問題について陳謝する武田総務相=5日午前（共同）

【世界肥満連盟】肥満率高い国に死者集中 コロナ、約9割と報告

【ロンドン共同】肥満問題に取り組み研究団体「世界肥満連盟」（本部ロンドン）は4日までに世界の新型コロナウイルスによる死者約250万人のうち約9割に当たる約220万人が、人口の50%超が肥満に分類される国に集中していたと報告書を発表した。

【共同】世界各国の家から出る食品廃棄物の量は2019年には年間5億7千万トン近くあり、家庭から出る食品廃棄物の量は2019年には年間約16万6千トンに達した。

【シドニー共同】米地質調査所（USGS）によると、ニュージーランド沖で5日午前8時28分（日本時間同4時28分）ごろ、マグニチュード（M）8.1の大規模地震が起きた。

【シドニー共同】ニュージーランド沖で5日午前8時28分（日本時間同4時28分）ごろ、マグニチュード（M）8.1の大規模地震が起きた。

【シドニー共同】ニュージーランド沖で5日午前8時28分（日本時間同4時28分）ごろ、マグニチュード（M）8.1の大規模地震が起きた。

【シドニー共同】ニュージーランド沖で5日午前8時28分（日本時間同4時28分）ごろ、マグニチュード（M）8.1の大規模地震が起きた。

【ワシントン共同】2011年の東日本大震災で米軍の被災地救援活動「トモダチ作戦」を第7艦隊司令官として指揮したスティーブ・パンバスカーク退役海軍中将（63）が5日までに、震災10年を前に共同通信のインタビューに応じ、作戦は「日本同盟の強固な絆を築いた」と語り、震災の悲劇を忘れないよう努力を続けることを誓った。

【ワシントン共同】2011年の東日本大震災で米軍の被災地救援活動「トモダチ作戦」を第7艦隊司令官として指揮したスティーブ・パンバスカーク退役海軍中将（63）が5日までに、震災10年を前に共同通信のインタビューに応じ、作戦は「日本同盟の強固な絆を築いた」と語り、震災の悲劇を忘れないよう努力を続けることを誓った。

【ワシントン共同】2011年の東日本大震災で米軍の被災地救援活動「トモダチ作戦」を第7艦隊司令官として指揮したスティーブ・パンバスカーク退役海軍中将（63）が5日までに、震災10年を前に共同通信のインタビューに応じ、作戦は「日本同盟の強固な絆を築いた」と語り、震災の悲劇を忘れないよう努力を続けることを誓った。

【ワシントン共同】2011年の東日本大震災で米軍の被災地救援活動「トモダチ作戦」を第7艦隊司令官として指揮したスティーブ・パンバスカーク退役海軍中将（63）が5日までに、震災10年を前に共同通信のインタビューに応じ、作戦は「日本同盟の強固な絆を築いた」と語り、震災の悲劇を忘れないよう努力を続けることを誓った。

【ワシントン共同】2011年の東日本大震災で米軍の被災地救援活動「トモダチ作戦」を第7艦隊司令官として指揮したスティーブ・パンバスカーク退役海軍中将（63）が5日までに、震災10年を前に共同通信のインタビューに応じ、作戦は「日本同盟の強固な絆を築いた」と語り、震災の悲劇を忘れないよう努力を続けることを誓った。

【ワシントン共同】2011年の東日本大震災で米軍の被災地救援活動「トモダチ作戦」を第7艦隊司令官として指揮したスティーブ・パンバスカーク退役海軍中将（63）が5日までに、震災10年を前に共同通信のインタビューに応じ、作戦は「日本同盟の強固な絆を築いた」と語り、震災の悲劇を忘れないよう努力を続けることを誓った。

【ワシントン共同】2011年の東日本大震災で米軍の被災地救援活動「トモダチ作戦」を第7艦隊司令官として指揮したスティーブ・パンバスカーク退役海軍中将（63）が5日までに、震災10年を前に共同通信のインタビューに応じ、作戦は「日本同盟の強固な絆を築いた」と語り、震災の悲劇を忘れないよう努力を続けることを誓った。

【ワシントン共同】2011年の東日本大震災で米軍の被災地救援活動「トモダチ作戦」を第7艦隊司令官として指揮したスティーブ・パンバスカーク退役海軍中将（63）が5日までに、震災10年を前に共同通信のインタビューに応じ、作戦は「日本同盟の強固な絆を築いた」と語り、震災の悲劇を忘れないよう努力を続けることを誓った。

【ワシントン共同】2011年の東日本大震災で米軍の被災地救援活動「トモダチ作戦」を第7艦隊司令官として指揮したスティーブ・パンバスカーク退役海軍中将（63）が5日までに、震災10年を前に共同通信のインタビューに応じ、作戦は「日本同盟の強固な絆を築いた」と語り、震災の悲劇を忘れないよう努力を続けることを誓った。

Publication information for Nikkei Shimbun, including contact details for the editorial and advertising departments.

Advertisement for Nikkei Shimbun's digital and print editions, including subscription rates.